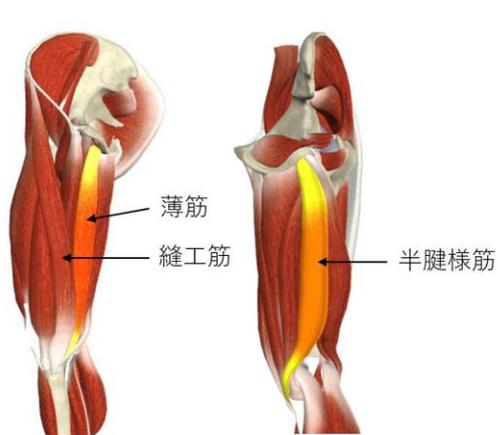


今回は鷺足を構成する筋の触診をしていきます。

鷺足を構成する筋の詳細

鷺足を構成する筋は3つあります。



筋名	起始	停止	作用	神経
薄筋	恥骨結合 恥骨下枝	脛骨粗面 内側	股関節内転 膝関節屈曲 下腿内旋	閉鎖神経 (L2~L4)
縫工筋	上前腸骨棘	脛骨粗面 内側	股関節屈曲 股関節外旋 膝関節屈曲 下腿内旋	大腿神経 (L2、L3)
半腱様筋	坐骨結節	脛骨粗面 内側	股関節伸展 股関節内転 膝関節屈曲 下腿内旋	脛骨神経 (L4~S2)

鷺足と片麻痺歩行の関係

- ・鷺足を構成する3つの筋は下腿筋膜にも停止をしています。
- ・脳卒中の方はアキレス腱の部分が固く、腓腹筋の内側頭と外側頭が下方に下がっている方が多くいらっしゃいます。
- ・腓腹筋の内側頭と外側頭が下方に下がるとその緊張を代償しようとし、鷺足を構成する筋が過剰に活動する事があります。それにより鷺足を構成する停止部の疼痛に繋がります。
- ・しかし脳卒中の方は鷺足を構成する筋の筋緊張を高めることが出来ない可能性があることも留意すべき点です。

以下の図をご覧ください。

	Paretic \pm SD (cm ³)	Non-paretic \pm SD (cm ³)	% Difference	p value
SOL	281.42 \pm 116.38	319.00 \pm 75.70	-12	0.0490*
MG	111.82 \pm 42.08	181.04 \pm 56.17	-38	0.0050*
LG	104.30 \pm 29.00	140.46 \pm 48.78	-26	0.0007*
TA	108.60 \pm 36.44	112.79 \pm 26.22	-4	0.2647
Shank average			-20	
BFS	45.99 \pm 21.46	64.12 \pm 31.27	-28	0.0036*
SM	117.61 \pm 68.47	130.10 \pm 65.51	-10	0.0974
ST	139.19 \pm 33.71	178.41 \pm 61.34	-22	0.0059*
BFL	120.68 \pm 47.97	150.89 \pm 50.73	-20	0.0018*
GRA	82.38 \pm 27.84	72.93 \pm 32.89	+11	0.1074
SAR	86.83 \pm 50.22	122.00 \pm 65.78	-29	0.0011*
RF	187.21 \pm 57.85	218.69 \pm 69.64	-14	0.0010*
VM	278.39 \pm 122.30	355.82 \pm 105.59	-22	0.0026*
VI	187.08 \pm 57.89	247.23 \pm 100.87	-24	0.0037*
VL	598.94 \pm 260.13	748.13 \pm 240.56	-20	0.0001*
TFL	29.46 \pm 12.56	60.07 \pm 19.45	-51	< 0.0001*
Thigh average			-24 ^a	

ST：半腱様筋 GRA：薄筋 SAR：縫工筋

- ・こちらの図は非麻痺側下肢と麻痺側下肢の個々の筋において、その体積を調べた研究です。
- ・薄筋のみ麻痺側下肢において筋の体積が大きい傾向である一方で、縫工筋と半腱様筋に関しては非麻痺側の下肢と比べて萎縮している傾向にあります。
- ・したがって下腿の筋とともに鷺足を構成する筋の筋緊張低下に対して介入する必要性もあります。

鷺足と片麻痺歩行の特徴

- 鷺足を構成する筋は下腿筋膜にも停止
- 腓腹筋の低緊張を代償しようと鷺足を構成する筋が過活動に
- 過活動による停止部の疼痛
- 鷺足を構成する筋の低緊張や萎縮

- 薄筋の確認 -

● 起始・停止



恥骨結合
恥骨下枝 → 脛骨粗面内側

● 作用

- ・ 股関節内転
- ・ 膝関節屈曲
- ・ 下腿内旋

- 縫工筋の確認 -

● 起始・停止



上前腸骨棘
↓
脛骨粗面内側

● 作用

- ・ 股関節屈曲、外旋
- ・ 膝関節屈曲
- ・ 下腿内旋

- 半腱様筋の確認 -

● 起始・停止



坐骨結節
↓
脛骨粗面内側

● 作用

- ・ 股関節伸展、内転
- ・ 膝関節屈曲
- ・ 下腿内旋

- 薄筋の触診 -

薄筋は恥骨結合と恥骨下枝から始まっています。
そして脛骨粗面内側に停止しています。



- ・ 近位部では前方に長内転筋があり、遠位部では縫工筋の下方に位置していますのでそれを指標に触診していきます。
- ・ 短縮している場合は近位を安定させて遠位を引き出したり、弱化している場合は近位の方に誘導すると促通の助けになります。

- 縫工筋の触診 -

縫工筋は上前腸骨棘から始まっています。
そして脛骨粗面内側に停止します。
近位部では外側に大腿直筋があり、遠位部では前方に内側広筋がありますのでそれを指標に触診していきます。



- 半腱様筋の触診 -

半腱様筋は坐骨結節から始まっています。
そして脛骨粗面内側に停止します。
近位部では大内転筋の後方にあり、半膜様筋の表層を通過しています。

